

スクリーニングシステム(YOSS)を統合した スクールソーシャルワーク事業プログラムに関する 協働型評価プロジェクト 説明会

無料試行実施
参画自治体募集!

～効果的なスクールソーシャルワーク事業プログラムを
より多くの地域で、より多くの児童・生徒たちに!～

説明会対象:教育委員会、SSWほか

※無料試行実施には教育委員会の判断が必要です

オンライン説明会 2022年9月25日(日)10:00-12:00

◎スクリーニングシステム (YOSS) を活用して、
SSW事業プログラムをより効果的な実践に!

大阪公立大学山野則子教授ら(2008;2015)によって開発された「効果的なスクールソーシャルワーク事業プログラム(SSW事業プログラム)」は、スクールソーシャルワーク実践の有効性を明らかにし多くの成果を上げて来ました。しかしこの効果的な取組みは、ニーズのある児童・生徒に適切に届いてこそ、社会全体としての成果を上げることができます。

スクリーニングシステム (YOSS) を活用し、SSW事業プログラムの入口支援として統合して、その有効性を科学的に検証することが求められています。

◎協働型評価を活用して、「チーム学校」そして
SSW事業の「協働チーム」の形成と実装を!

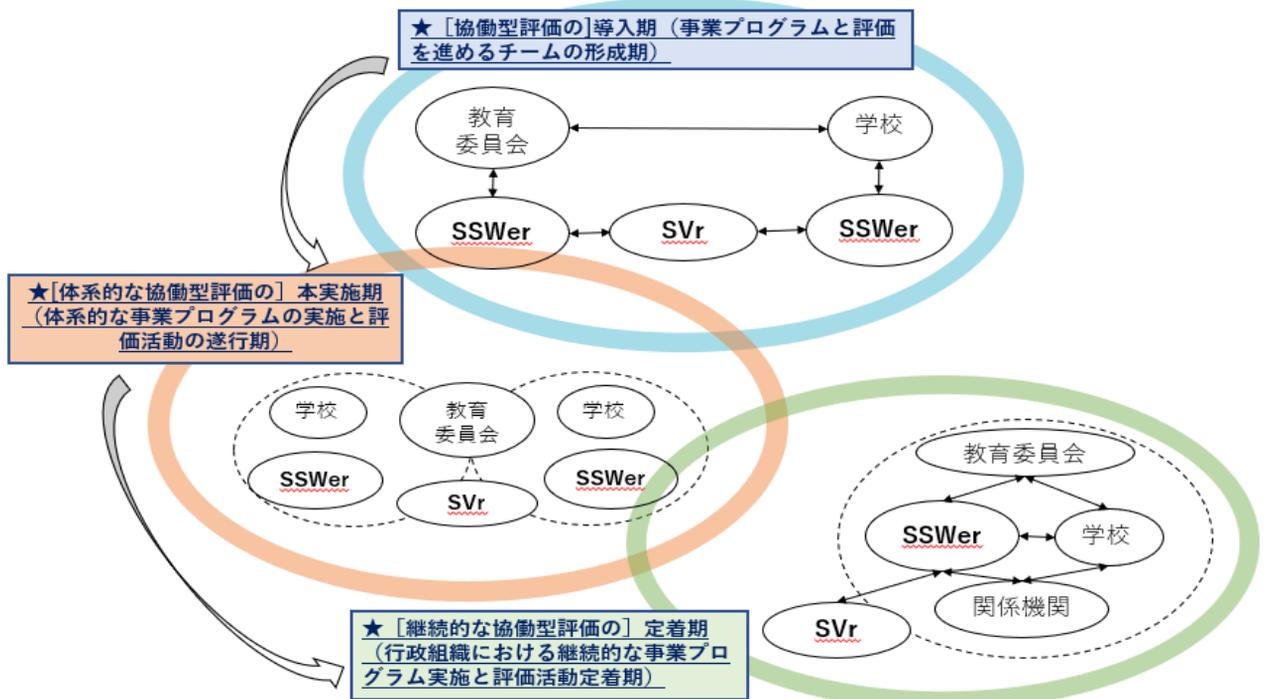
効果的SSW事業プログラムは、スクールソーシャルワーカー (SSWer) ・スーパーバイザー、教育員会・学校等の密接な連携・協働によって、より効果がある取組みになることが明らかになっています。しかし、その協働のチーム形成にはさまざまな課題があります。エビデンスに基づく効果的SSW事業プログラムでは、協働型評価を最大限活用して、「チーム学校」そして、SSW事業のそれぞれの協働チームの形成と実装を図ることが必要ですし、それが可能です。

◎個々の児童・生徒の最善の利益を追求し、より効果的な
SSW事業プログラムモデルのより良い発展のために

スクリーニングシステム (YOSS) を統合したSSW事業プログラムをより効果的なものへ発展させて、個々の児童・生徒の最善の利益を追求できるように、そしてこの効果的な取組みをより多くの地域で実施できるように、無料施行実施への多くの関係者の皆さまのご参画をお願いします。

◎協働型評価プロジェクトの概要

本プロジェクトは、プログラムを実施すると同時に実施するための土台を整備すること、土台を整備する過程を明らかにすることを目的としています。土台はSVr,SSWer,各学校担当者,教育委員会担当で構成されます。この土台を形成するチームでSSW事業プログラムを実施していくことが重要だと考えています。



土台はSVr,SSWer,学校担当者,教育委員会担当者が協働型評価を通して一緒につくりあげていきます。一緒につくりあげることで土台はより強くなると考えられており、その過程を1年間の研究の中で明らかにすることが期待されています。

今回のプロジェクトでは、これまでのSSW事業プログラムに加え、SVrがファシリテーターとなって土台を整備する活動を行います。具体的には、これまでの効果的援助要素を整理し土台の整備に関する項目を抽出した「協働型評価の実装に向けたガイドライン」を使用して自治体の状況を把握し、課題を共有します。その後、SVrが中心となってSSWer,学校関係者,教育委員会担当者と一緒に課題を解決する方法を考えます。

SVrと一緒に効果的にプログラムを実施する方法を考える機会になります。皆さまぜひご参加ください。

お問合せ・お申込先：大阪公立大学現代システム科学研究科 山野則子研究室

gr-kyik-ebssw@omu.ac.jp (担当：木下) 申込締切：9月9日(金)

※お名前・ご所属・スクリーニング活用有無を明記してください。

また、「午前のみ参加」「午後のみ参加」「午前・午後両方参加」のいずれかをご明記ください。

主催：大阪公立大学協創研究センター スクールソーシャルワーク評価支援研究所
評価キャパシティ形成支援法開発班

本取り組みは、文部科学省科学研究費助成事業基盤研究(B)の助成にて実施するものです。